

9月25日 能勢の自然エネルギーワークショップを開催しました

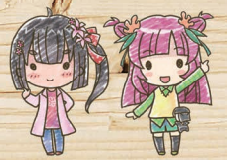
約30名の皆さんにご参加をいただき、自然エネルギーの普及促進に向けた専門家によるミニ講演や、参加者が意見交換を行なうワークショップを開催しました。

ゼロカーボンタウンの実現目標年である「2050年の能勢町の姿」についてアイデアを出し合いました。

次回は11月26日(土)を予定しております。詳細については、決定次第HPなどでお知らせいたします。



目指せ！
ゼロカーボン
タウン



リユースパネルを活用した太陽光発電設備が完成 ～再エネ普及・電力自給の実現へ～

豊中高校能勢分校で、9月30日に、高校生が太陽光パネルを設置するワークショップが実施されました。この太陽光パネルは使われなくなったパネルを再利用したものです。

ワークショップには、環境や地域づくり等に関心がある12名の生徒ほか卒業生や住民の皆さま、本取組をサポートされた(株)能勢・豊能まちづくりの皆さまなど多くの方が参加されました。

太陽光により発電した電力は同校の生徒が通学時に利用しているE-bikeの充電などに利用される予定です。

地域おこし協力隊活動日誌

どうも、高江です。すっかりひんやりとする季節になりました。畑仕事や草刈りなど、田舎での仕事をしていると、季節の移ろいに自分が追いつけていない気分になります。「あ～タネまきしないと！」「あ～寒冷紗かけないと！」と、常に季節に先を越されている感覚で、四季を愛でるということができているかと実感しています。ところが、町内のおじいちゃん・おばあちゃんたちは、「そろそろ～する頃やな」というのを山や畑を頼りに感じ取っておられます。日付を頼りにするのと違い、五感で暦を読み取るというのは、まさに長年の知恵であり、「季節とともにある」という生き方が体に染みついておられるわけです。

長年の経験の積み上げでしか得られない感覚や思慮分別。いくら勉強したって自分はまだまだ上っ面だけだなどつくづく思い知らされる日々です。



問 総務課 (☎734・3036)